

NEWS RELEASE

キャノンマーケティングジャパン株式会社
 キャノン IT ソリューションズ株式会社

ハイブリッドクラウド環境を実現する共通基盤で基幹系システムを刷新 顧客企業の DX 支援を強化

キャノンマーケティングジャパン株式会社(代表取締役社長：坂田正弘、以下キャノン MJ)は、このほど DX(デジタルトランスフォーメーション)、ハイブリッドクラウド時代の共通基盤を構築し、キャノン MJ グループの基幹系システムを刷新しました。

キャノン IT ソリューションズ株式会社(代表取締役社長：金澤明、以下キャノン ITS)は、このたびの共通基盤・基幹系システムの開発・構築で培った、メインフレームを含むレガシーシステムの整理、クラウド移行などの SoR 領域の軽量化、およびハイブリッドクラウドやデジタル化のノウハウを通じて、お客さまの DX への取組みを支援します。



次世代基幹系システムへのロードマップ

キャノン MJ グループは、お客さまが直面する課題の解決に向け、SI サービス事業やセキュリティ事業、データセンター事業などの IT ソリューションビジネスに注力しています。

このたび基幹系システム刷新の一環として、ハイブリッドクラウド環境に対応した共通基盤を構築したことで、基幹系システムを効率化するとともに、新規ビジネス創出に向けた DX へ集中的に取り組むことを可能にしました。

■ 基幹系システムを 100%クラウド運用へ^{※1}、DX 変革を推進

クラウド時代においても、基幹系システムの全てをクラウドで運用している企業は少なく、キャノン MJ グループもオンプレミスとクラウド(プライベート、パブリック)を適材適所で併用してきました。しかしながら、加速し続けるビジネススピードを考慮し、今後は刷新する全ての社内システムを 100%クラウド上に構築します。今回、一部の基幹系システムにおいてクラウドでの運用を開始^{※2}しましたが、2021年に会計系のシステムをクラウド化する計画となっています。IT 投資を「守り」から「攻め」へとシフトし、DX 変革を強力に推進していきます。

■ ハイブリッドクラウド環境を実現する「共通基盤 iCap^{※3}」を構築

キャノン MJ グループはオンプレミスとクラウド(プライベート、パブリック)のハイブリッドクラウド環境に適用した「共通基盤 Integrated Common Applications Platform(社内略称：iCap)」を構築しました。本共通基盤により、多様なプラットフォーム上で稼働するシステムを連携し、横断的に管理、運用することができます。システム間を疎結合でつなぐデータ連携基盤と、運用と保守を統合的に管理する運用管理基盤、社内の ID を管理しシングルサインオンを実現する認証基盤などで構成されます。

■ お客さまの DX 実現をトータルでサポート

共通基盤や基幹系システムには、キヤノン MJ グループの SI サービス・ソリューション製品を利用しています。キヤノン ITS がこれらの導入・構築・開発を一手に担っており、今回培ったノウハウを生かし、お客さまのメインフレームを含むレガシーシステムの整理、クラウド移行など、DX の取り組みをトータルでサポートしていきます。

種類	サービス・製品	説明	提供
クラウド基盤	SOLTAGE ^{※4}	パブリッククラウドサービス	キヤノン ITS
アプリケーション	mcframe7	生産・販売・在庫管理ソフト	キヤノン ITS
	Web Performer	ローコード・超高速開発プラットフォーム	キヤノン ITS
	Web PerformerWf+	ワークフロー管理ソフト	キヤノン ITS
セキュリティ	ESET インターネットセキュリティ	総合セキュリティソフト	キヤノン MJ
システム運用	MSP サービス	西東京 DC の統合運用サービス	キヤノン ITS

※1 100%クラウド運用へシフト

基幹系システムだけではなく、オフィススイートや文書ファイルなどの社内データは、すでにオンプレミスからクラウドへ完全移行しています。

- ・基幹システム・・・クラウド化 実施中
- ・オフィスシステム・・・クラウド化 完了(Office365等)
- ・各種データ・・・クラウド化 完了(一部 SharePoint 等)

共通基盤導入の費用削減効果として、運用管理基盤の導入により運用費用の20%削減を、データ連携基盤では連携開発を共通化、自動化する事で30%の効率化を見込んでいます。

※2 一部の基幹系システムがクラウドでの運用を開始

部品の受発注・在庫管理のシステムであるパーツ管理システムを共通基盤上に構築し、2019年5月本番運用を開始しました。

※3 「共通基盤 iCap」を構築

「共通基盤 Integrated Common Applications Platform (社内略称：iCap)」は、DX から基幹系システムまでハイブリッドクラウド上のシステムを支える基盤です。下表が今回構築したのですが、これ以外にもマスター管理基盤、API ゲートウェイ、BI 基盤の構築を予定しています。

種類	主要機能	
データ連携基盤	システム間連携における差異の吸収、疎結合化	
運用管理基盤	ITSM(BPM)	ITIL に準拠した運用業務プロセス管理、MSP サービスとの連携
	ログ管理	ログフォーマット変換、収集・蓄積、一貫検索
	MSP サービス	監視、ジョブ管理、運用代行サービス
	運用自動化	本番リリース作業の自動化
統合認証基盤	SaaS 利用も想定したシングルサインオン環境	
帳票基盤	フォーム管理、帳票生成、Canon imageWARE FormManager を利用	
ワークフロー基盤	承認経路設計、Web Performer との連携	

※4 クラウドサービス SOLTAGE

キヤノン ITS が提供する「クラウドサービス SOLTAGE」は、国内でも最高水準のティア 4レベルの「西東京データセンター」にシステムを構築することで、安心かつ安定したクラウドサービスを実現しています。

さらに、セキュアで安全なシステム環境の構築のため、同社が国内総販売代理店として提供するウイルス対策ソフト「ESET」を標準装備し、二重化した可用性の高いネットワーク、24時間監視・ジョブ管理・運用代行など、高品質な付加価値サービスを低価格で提供します。

キヤノン ITS は、あらゆるシステムとの親和性が高い「クラウドサービス SOLTAGE」と 100 システムを超えるクラウド移行実績を有しており、お客さまのニーズにマッチしたアウトソーシングサービスをトータルでサポートしています。

-
- 報道関係者のお問い合わせ先：キヤノンマーケティングジャパン株式会社
 広報部 パブリックリレーションズグループ 03-6719-9093(直通)
 - 一般の方のお問い合わせ先：キヤノン IT ソリューションズ株式会社
 ソリューション推進本部 ソリューション企画部 03-6741-9181(直通)
 - グループの IT 推進の取り組み：<https://cweb.canon.jp/corporate/brand/it/index.html>
 - ニュースリリースホームページ：[canon.jp/newsrelease](https://www.canon.jp/newsrelease)
-